

日韓交流年開幕式を盛大に開催

国際課・芸術文化課

1 オープニング

二〇〇五年一月二五日、日韓友情年二〇〇五の日本でのオープニング行事が東京にて開催され、祝賀公演のほか、レセプションでは、小泉総理大臣、羅鍾一（ラ・ジョンイル）駐日韓国大使が挨拶されました。

一月二七日、日韓友情年二〇〇五の韓国でのオープニング行事がソウルで開催され、日本からは森喜朗前総理（日韓議員連盟会長）、河合文化庁長官らが出席し、韓国の盧武鉉（ノ・ムヒョン）大統領が祝辞を述べました。その後、日韓友情年イメージソング「Dance with Me」や木村佳乃日韓観光大使のビデオメッセージ等が披露されました。

2 交流公演 文楽とパンソリ

二〇〇五年一月二九日、三〇日には、「人形浄瑠璃文楽とパンソリの交流公演・韓国公演」が国立国楽院礼楽堂（ソウル）にて公演されました。両国を代表する伝統芸能の交流公演を行うことにより、両国の伝統芸能による文化交流の更なる促進を目指すものです。二九日の公演後にはレセプションが同院内にて開催され、河合文化庁長官および鄭東采（チョン・ドン

チエ）韓国文化観光部長官が祝辞を述べました。

三月三日、四日に、「人形浄瑠璃文楽とパンソリの交流公演・日本公演」が国立劇場小劇場（東京）にて公演され、満員の盛況のうちに終わりました。三日の公演後のレセプションでは、小島文部科学副大臣、裴鐘信（ベ・ジョンシン）韓国文化観光部事務次官が挨拶し、両国の出演者をねぎらいました。

3 文化庁メディア芸術祭における記念事業

「文化庁メディア芸術祭」（二月二五日

2005年1月～7月の文化庁関連事業一覧

1月25日	開幕式(日本)
1月27日	開幕式(韓国)
1月29日～30日	文楽とパンソリ日韓交流公演 (韓国公演)
2月25日～3月6日	文化庁メディア芸術祭
3月3日～4日	文楽とパンソリ日韓交流公演 (日本公演)
3月5日～11日	韓国インディペンデント映画2005
5月13日～6月19日(予定)	「その河をこえて、五月」 (日本公演)
7月1日～3日	「その河をこえて、五月」 (韓国公演)



パンソリの公演



人形浄瑠璃文楽の公演

（三月六日）では、「日韓友情年二〇〇五」記念事業として、「韓国文化コンテンツ秀作展」や「日韓クリエイターズ・ミーティング」「日韓学生アニメ・コラボレーション」を開催しました。恵比寿ガーデンプレイス内の会場では、アニメーション、映画など韓国の優れた文化コンテンツを幅広く紹介したほか、日韓のメディア芸術分野の最先端で活躍するクリエイターやアーティストの意見交換が行われました。

4 韓国インディペンデント映画

二〇〇五

昨年に引き続き開催した「韓国インディペンデント映画二〇〇五」（三月五日～三月十一日）では、日本でも関心の高い韓国映画のうち、短編、ドキュメンタリー、長編などさまざまな分野のインディペンデント映画の紹介やパネルディスカッションを行いました。

開幕式に続く多彩な事業

国際課・芸術文化課

2005年4月～8月の関連事業一覧

4月1日～ 4月3日	歌舞伎近松座韓国公演 国立劇場（ソウル）
4月9日～ 4月10日	歌舞伎近松座韓国公演 釜山文化会館（釜山）
5月13日～ 6月19日	公演「その河をこえて、五月」 新国立劇場（東京）ほか
7月1日～ 3日	公演「その河をこえて、五月」 芸術の殿堂土月劇場（ソウル）
8月25日～ 2週間程度	日韓芸術系大学交流展 芸術の殿堂美術館（ソウル）

日韓友情年二〇〇五は、日韓国交正常化四〇周年を記念して、両国民の友情と相互理解を深めることを趣旨として設けられました。一月のオープニング以来「進もう未来へ、一緒に世界へ」をキーワードに、多くの交流年事業が行われています。文化庁では、引き続き未来志向で、隣人としての信頼関係の構築に向けた日韓友情年関連の交流事業を着実に進めて参ります。

1 韓国インディペンデント映画 二〇〇五

さまざまな分野のインディペンデント映画を紹介する場として、今年も「韓国インディペンデント映画二〇〇五」を三月五日から一日までシアター・イメージフ

ォーラム（東京）にて開催しました。二八作品を上映したほか、「メインストリーム映画を揺るがす韓国インディペンデント映画のラジカルな声を拡大するために」とのテーマでパネルディスカッションを行い、インディペンデント映画を今後きちんと確立していくために、上映のバックグラウンドを作っていくべきといった意見が交わされました。

2 歌舞伎近松座韓国公演

近松座の韓国公演『曾根崎心中』が、四月一日から三日間ソウルにて、四月九日から二日間釜山にて開催されました。ソウルでの初日の公演には、鄭東采（チョン・ドンチュ）韓国文化観光部長官や金容雲（キム・ヨヌン）日韓文化交流会議韓国側代表らが訪れ、公演後のレセプションでは、出演した中村鴈治郎氏らと歓談されました。

3 公演「その河をこえて、五月」

「その河をこえて、五月」は、劇作家平田オリザ氏と金明和（キム・ミヨンファ）



『曾根崎心中』お初／中村鴈治郎、徳兵衛／中村翫雀
写真提供：松竹

4 日韓芸術大学交流展

日本とソウルの芸術大学による、双方の大学関係者の作品を紹介しあう美術交流展を開催します。八月にソウルで、続いて一二月に東京で展示やセミナー、ワークショップを行う予定です。

氏が共同で執筆し、平田氏と李炳焄（イ・ビョンフン）氏が演出を行い、両国の俳優が演じる共同制作作品です。五月一三日から東京など六か所で、七月一日から三日間ソウルで上演されます。春のある日の河原を舞台に、「異国間コミュニケーション」をテーマとしており、二〇〇二年の日韓国民交流年の記念事業として公演された際には、朝日舞台芸術賞グランプリなどを受賞しました。

友情年も中盤、熱の入った事業を展開

国際課・芸術文化課

2005年6月～9月の関連事業一覧

6月30日～ 7月2日	日韓友情の出会い～日韓文化交流展 COEX (ソウル)
7月1日～ 3日	公演「その河をこえて、五月」 芸術の殿堂土月劇場 (ソウル)
8月26日～ 9月4日	東京芸術大学・韓国芸術総合学校交流展 —出会い— 芸術の殿堂美術館 (ソウル)



【紙芝居の上演】 写真提供：日韓友情年2005実行委員会

六月三〇日から七月二日まで、ソウルにて「日韓友情の出会い」日韓文化交流展が開催されます。

七月一日から三日間、日本に引き続きソウルでも「その河をこえて、五月」が再演されました。日韓両国の劇作家（平田オリザ氏、金明和（キム・ミョンファ）氏）、演出家（平田氏、李炳君（イ・ビョングン）氏）、俳優（三田和代氏、白星姫（ベク・ソンヒ）氏）による共同制作作品です。舞台となる韓国の初演の二〇〇二年以降の社会の変化を設定に盛り込み、さらに「コミュニケーション」のすばらしさを伝える舞台となりました。

また、あわせて、日韓の演劇交流の成果を次世代に継承するため、何が必要かを検証す

るワークショップを行いました。共同演出者の李氏のコーディネートで、韓国演劇人を対象に、平田氏が講演しました。

3 東京芸術大学・韓国芸術総合学校交流展 — 出会い —

八月二六日から九月四日にソウルで、一月二九日から二月一八日に東京で、絵画、彫刻、工芸、現代美術、建築分野の両大学関係者の作品、約七〇点を集めた交流展を開催します。展示と合わせて、現代美術に関するセミナーやワークショップを行い、両国文化の相似性や根底にあるものを考察する機会とします。

1 日韓友情の出会い 日韓文化交流展

日韓国交正常化四〇周年を記念して、両国民の友情と相互理解を深めることを趣旨として設けられた「日韓友情年」も中盤を迎えています。六月二〇日に行われた日韓首脳会談でも、さらなる交流の拡大が必要であり、日韓友情年を官民を上げて盛り上げたいとの発言がなされました。文化庁では、引き続き信頼関係の構築に向けた日韓友情年関連の交流事業を進めて参ります。

2 公演 「その河をこえて、五月」

「展」が開かれ、芸術、伝統芸能など幅広いジャンルにわたる日韓の相違点を理解し合うことを目的に展示や交流会が行われました。茶道や華道の体験のほか、紙芝居を題材にした日韓大学マンガ教育交流のワークショップ等が開かれました。



【その河をこえて、五月】2005年日本公演 撮影：谷古宇正彦

フィナーレに向け、盛り上がる交流事業

国際課・芸術文化課

2005年8月～12月の関連事業一覧		
8月26日～9月4日	日韓芸術大学交流展	芸術の殿堂美術館（ソウル）
9月15日～10月28日	舞台芸術国際フェスティバル	東京、大阪、福岡、沖縄 ほか
9月24日～9月25日	日韓舞踊交流「舞姫と牧神達の午後～コンテンポラリーダンスガラ公演」	貞洞劇場（ソウル）
10月1日～10月4日	日韓子ども文化交流—これから一緒に歩く道—	ハイパーテーク・ナダ（ソウル）
10月14日、1月19日	日韓民族芸能交流公演	沖縄、済州島
11月10日～11月23日	日本映画：多様な展開	メガボックス（ソウル）
11月11日～11月13日	宝塚歌劇団韓国公演	慶熙大学「平和の殿堂」（ソウル）
11月29日～12月18日	日韓芸術大学交流展	東京芸術大学美術館（東京）
12月6日～12月25日	「韓国クラシック映画特集」	東京国立近代美術館 フィルムセンター（東京）

平成一七年一月に始まった「日韓友情年二〇〇五」も、一二月にフィナーレを迎えます。「韓流」の熱が冷めやらぬ中で、多くの交流が行われた一年を華やかに締めくくめるよう、文化庁は多彩な事業でさらに盛り上げて参ります。

1 日韓芸術大学交流展

八月二六日から九月四日まで芸術の殿堂美術館（ソウル）において、「東京芸術大学・韓国芸術総合学校交流展—出会い—」が開催されました。絵画、彫刻、工芸など両国の芸術大学関係者約六〇名の作品を展示し、両大学の関係者、学生のほか、多くの方が観覧に訪れました。

2 文化庁舞台芸術国際フェスティバル二〇〇五

四回目となる本年のフェスティバルは、「アジアの文化交流」をテーマに、九月一五日から（プレイベントは九月六日から）約二か月間東京や関西、沖縄などで、日本と海外の芸術家・芸術団体が競演する場を提供します。本年は公演以外に、公演に関連したシンポジウムなどの実施も予定しています。

3 日韓子ども文化交流

—これから一緒に歩く道—

日韓の子どもたちによる映画鑑賞をとおして両国間の文化や社会に対しての関心を増進し、未来志向の相互理解を促進することを期して、一〇月一日から四日まで芸術映画専用劇場「ハイパーテーク・

平成16年度舞台芸術国際フェスティバル
アジアのスーパー・ガラ・コンサート
2004～かよいあう心～



日韓芸術大学交流展



4 日本映画…多様な展開

ナダ」（ソウル）にて、小中学生向けの日本映画八作品を特集した上映会及び討論会等を行いました。

平成一六年一月の韓国における日本映画の完全開放を受けて、昨年の「日本映画…愛と青春一九六五—一九九八」に引き続き、本年は「日本映画…多様な展開」を一一月一〇日より映画館「メガボックス」（ソウル）にて開催いたします。

ついに「日韓友情年2005」もフィナーレ

国際課・芸術文化課

2005年10月以降の関連事業一覧

10月1日～10月4日	日韓こども文化交流—これから一緒に歩く道—	ハイパーテーク・ナダ（ソウル）
10月14日	日韓民俗芸能交流公演	国立劇場おきなわ
11月10日～11月23日	日本映画：多様な展開	メガボックス・コエックス（ソウル）
11月11日～11月13日	宝塚歌劇韓国公演	慶熙大学「平和の殿堂」（ソウル）
11月29日～12月18日	日韓芸術系大学交流展	東京芸術大学美術館
12月6日～12月25日	韓国クラシック映画特集	東京国立近代美術館 フィルムセンター
1月21日	日韓民俗芸能交流公演	済州道文芸会館（済州島）

一月に国立代々木競技場で華やかに幕を開けた「日韓友情年二〇〇五」も、ついにフィナーレです。文化庁は、多くの交流年事業が行われてきた中で築かれた相互理解と友情を大切に受けとめ、さらに豊かなものとしてまいりたいと考えています。

1 日韓民俗芸能交流公演 — 沖縄と済州道の出会い —

昨年度一月に開場した、国立劇場おきなわを会場に、「日韓民俗芸能交流公演—沖縄と済州道の出会い—」を、一〇月一四日に行いました。「歌と踊りの島」として知られる沖縄と済州道の民俗芸能をそれぞれ公演した後、最後に出演者全員で沖縄の伝統的な踊りであるカチャーシーを披露いたしました。

2 日本映画…多様な展開

昨年に続く日韓の映画を通じた文化交流事業として、一一月一〇日から二三日まで、「日本映画…多様な展開」をソウルにて行いました。本年は、一九六〇年代前半の作品から二〇〇五年の最新作まで時代をまたがる多彩な四五本の作品を上映し、多くの方々にご覧いただきました。



「日本映画：多様な展開」パンフレット

3 日韓芸術大学交流展

東京芸術大学にて一一月二九日から二月一八日まで、今年の八月にソウルで行った「東京芸術大学・韓国芸術総合学校交流展—出会い—」を開催しています。絵画、彫刻、工芸など両学校関係者の作品が展示されます。

4 韓国クラシック映画特集

「戦後韓国映画の父」とも呼ばれる巨匠、ユ・ヒョンモク、兪賢穆監督を日本で初めて特集する企画を、一二月六日より東京国立近代美術館フィルムセンターにて行っています。



日韓民俗芸能交流公演「沖縄と済州道の出会い」

「日韓友情年2005」を振り返って

国際課・芸術文化課



ソウルでの開幕式

二〇〇五年が日韓国交正常化四〇周年にあたることを記念し、日韓両国の首脳によって「日韓友情年二〇〇五」が表明され、「進もう未来へ、一緒に世界へ」というキャッチフレーズが定められました。一月に国立代々木競技場で幕を開けた「日韓友情年二〇〇五」は、両国のさまざまなジャンルで、総数七〇〇件あまりの事業が行われ、文化庁の関連事業も含め大きな盛り上がりを見せました。今後は、多くの交流の中で築かれた相互理解と友情をさらに豊かなものとしていくことを考えています。

1 日本からの発信

日本の伝統芸能から昨今の舞台芸術に至る幅広い日本文化を発信しました。四月に行った歌舞伎近松座のソウル、釜山公演や、昨年の「日本映画・愛と青春」に続く一月の「日本映画・多様な展開」での日本映画の上映のほか、レセプション等での伝統芸能の披露などを主催、

支援しました。

また、文化庁メディア芸術祭コンテンツに韓国からの応募を受けたり、舞台芸術国際フェスティバルに韓国からの演者を招いたり、日本での開催イベントに韓国の方の大きな協力をいただきました。

2 日韓での共同事業

それぞれの文化の理解を進めるだけでなく、ともに創作したり、演じたりする場を多く設けました。

一月の韓国での開幕式後に行った文楽とパンソリの交流公演や、日韓の劇作家、演出家、俳優が共演した「その河をこえ



「文楽とパンソリの交流公演」(東京)での出演者挨拶
(写真提供：独立行政法人日本芸術文化振興会)



日韓民俗芸能交流公演「沖縄と済州道の出会い」



「俞賢穆監督特集」でのユ・ヒョンモク監督
(写真提供：独立行政法人国立美術館東京国立近代美術館フィルムセンター)

文化庁関連事業一覧		
1月25日	開幕式(日本)	国立代々木競技場(東京)
1月27日	開幕式(韓国)	ロッテホテル(ソウル)
1月29日～30日	文楽とパンソリ日韓交流公演(韓国公演)	国立国楽院(ソウル)
2月25日～3月6日	文化庁メディア芸術祭	東京都写真美術館ほか
3月3日～4日	文楽とパンソリ日韓交流公演(日本公演)	国立劇場(東京)
3月5日～11日	韓国インディペンデント映画2005	シアター・イメージフォーラム(東京)
4月1日～4月3日	歌舞伎近松座韓国公演	国立中央劇場(ソウル)
4月9日～4月10日	歌舞伎近松座韓国公演	釜山文化会館(釜山)
5月13日～6月19日	公演「その河をこえて、五月」	新国立劇場(東京)ほか
6月30日～7月2日	日韓友情の出会い～日韓文化交流展	コエックス パシフィックホール(ソウル)
7月1日～3日	公演「その河をこえて、五月」	芸術の殿堂土月劇場(ソウル)
8月26日～9月4日	東京藝術大学・韓国藝術総合学校交流展	芸術の殿堂美術館(ソウル)
9月15日～10月28日	舞台芸術国際フェスティバル	東京、大阪、福岡、沖縄ほか
9月24日～9月25日	日韓舞踊交流「舞姫と牧神達の午後～コンテンポラリーダンスガラ公演」	貞洞劇場(ソウル)
10月1日～10月4日	日韓こども文化交流～これから一緒に歩く道～	ハイパーテーク・ナダ(ソウル)
10月3日	日韓民俗芸能交流公演PR公演	貞洞劇場(ソウル)
10月14日	日韓民俗芸能交流公演	国立劇場おきなわ大劇場
11月10日～11月23日	日本映画：多様な展開	コエックス メガボックス(ソウル)
11月11日～11月13日	宝塚歌劇団韓国公演	慶熙大学「平和の殿堂」(ソウル)
11月15日、20日、12月5日	第3回国際文化フォーラム	京都、大阪
11月29日～12月18日	東京藝術大学・韓国藝術総合学校交流展	東京藝術大学美術館
12月6日	日韓友情記念コンサート	ソウル総合運動場チャムシル体育館
12月6日～12月25日	韓国リアリズム映画の開拓者 俞賢穆(ユ・ヒョンモク)監督特集	東京国立近代美術館フィルムセンター
12月7日	フィナーレ・レセプション	ロッテホテル・ワールド(ソウル)
1月21日	日韓民俗芸能交流公演	済州道文芸会館(済州島)



「フィナーレ・レセプション」に参加した日韓の学生

て、五月」の公演、両国の芸術系大学初の交流展のほか、「歌と踊りの島」として知られる沖縄と済州道の民俗芸能の交流公演など、両国による両国での交流公演を主催、支援しました。

3 これからの日韓交流の担い手

「日韓友情年二〇〇五」では、次の世代を担う若者が参加した交流行事が多く見られました。

文化庁が関連した事業でも、第三回国際文化フォーラムにおける「日韓学生演奏交流ワークショップin大阪」や、ソウルで行った「日韓友情年記念コンサート」や「フィナーレ・レセプション」などにおいて、日韓の学生の演奏・実演などを行いました。参加した学生たちは、国境や原語の壁を越えて交流できたことへの感謝と、交流を今後流を今後も続けていく決意をいっていました。